

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

January 2018

みなさん あけましておめでとうございます。

今月で「e-ビーフNEWS 北の牧場から」5年目に入ります。これからも宜しくお願い致します。

## 十勝のアイス

12月に入り暖かいです。暖(寒)の戻りでしょうか。東京の朝が氷点下のNEWSをみて全国的に冷え切っていますね。こちらは半袖です(家の中)。先日の-15℃は、さすが頬つぱたが痛かったですが、直近の朝は-7, 8℃、日中が氷点下の真冬日です。先日はベタ雪が雨に変わりました。これが路地に残ってテカテカのツルンツルンのリンク状態です。リンクと言えば小学校の校庭にアイススケートリンクがオープンしました。今年は、ベースになる雪と寒さが速く早めにリンクが出来上がりました。平昌冬季オリンピックに間に合いましたね(高木美帆出身地)。冬休みに入った子供たちの歓声が聞こえてきます。



## 活動のお知らせ

1月26日(金) 15:00~ 道総研 畜産試験場 普及室&研修館(わかば荘)  
第2回 肉牛飼養技術研修会&新年会 次年度事業、シンポジウム内容検討  
案内文は道総研 畜産試験場から配信されていますのでご確認ください

## NEWSばかり読み

- 北海道あか牛第16回枝肉共励会、安平で開催 小原さん最優秀賞  
12/1:さすが
- 国立大学 食・農学部学科新設相次ぐ 12/1:食・農は一体化
- EU 2011年以降の日本食品輸入規制を緩和 12/2:「やっ」とかい
- 加工食品メーカー 原産地表示義務付け新制度の対応鈍く  
12/4:余裕はないよ
- 道総研 おが粉代替木質資材開発で低コスト雑菌抑制 12/4:期待
- ドラッグストア生鮮部門の取扱が急増 12/4:スーパーの敷居が無くなる
- JA高知 ハウスのレンタル施設事業で新規就農規模拡大に  
12/5:条件の整備が必要
- 農研機構 食用米WCSコスト低減の調整方法開発 12/6:飼料米の活用進む
- 北海道農研センター イアコーンサイレージ利用手引書から肥育牛の利用や土壌物理性改善生産費4,400円/10aTDN@51円 12/6:定着するか
- 自民 漬物振興議連発足 原料調達製造で政策提案  
12/7:野菜の総合調整剤として
- FAO11月世界食糧在庫が過去最高7億t小麦積上る 12/8:日本コメ生産100倍
- 財務省国際収支経常黒字過去最高の2.1兆円 12/8:儲かっているのかな
- 日欧EPA交渉妥結 19年施行 チーズ豚牛肉に影響 12/8:乳製品の動向次第
- コンビニ各社 自転車シェアやジム併設で成長限界打破 12/8:頑張り企業戦略
- 業務用米が4割高 パックごはんや牛丼値上げ 12/12:飼料米の影響?
- JAXA キックマン[しょうゆ]宇宙食で認定 12/13:宇宙でステーキ・焼肉を
- マルキン10月肉専発動県増える 素牛高騰粗収入圧迫  
12/13:予想通り解決せず

- 農林水産省 米粉を「ノングルテン」表示で認証マーク 12/14:コメの活用増か
- JA鹿児島きもつきTMRCでサツマイモ粕活用 肉牛供給  
12/14:おいしくなるよ
- 政府 18年度からマルキン9割補てん 12/15:経済から離れる
- 日欧EPA GI(地理的保護)で最終合意 12/16:他国への交渉ベースの基本
- 11月生乳生産 北海道貢献し16ヵ月ぶりに前年度超え 12/18:やっと回復
- 農林水産省 酪農家の労働軽減で搾乳ロボ、自動給餌機導入支援 12/19:
- 18年度農業予算2.3兆円水田対策や土地改良が重点  
12/20:自給率向上するの
- 岡山県びほく 耕作放棄地に短角牛放牧 黒毛ET生産 12/20:放牧適合だね
- 豊洲市場 来年11月開場で決定 12/21:いろいろなNEWSになったね 根本は
- 国連 19-28年を「家族農業の10年に」決定 12/22:日本には何が必要?
- 農林水産省 畜産生産費和牛7.1%増114万円交雑77万円ホル50万円  
12/22:高い
- 北海道酪農畜産協会 和牛生産会議で北海道らしい牛づくり提案  
12/22:根本から
- 厚生労働省 17年赤ちゃんが最小の94万人死亡134万人 12/23:自然減明瞭
- 道総研 マツタケ人工栽培確立へ 12/25:生産技術は日進月歩
- 競馬 キタサンブラック有馬記念有終の美 12/25:やはり「北」か
- ミカン21年ぶりの高値 天候不順/生産者高齢/老木  
12/26:日本の構造的課題
- 12月和牛子牛相場反転し最大の値上げ幅5%高81万円 12/26:構造的欠陥
- 16年度農業総産出高9兆円16年ぶりの大台、米、牛肉が貢献  
12/27:貢献したんだ
- 農研機構 CO2吸収減の土壌有機態炭素含有量の地図を完成  
12/27:微生物分布

## 東京直近NEWS (12/26 Shi-REPORT)

**ホルス** 1月枝相場は年末の需要期相場適用から上げにて推移。実際の期中相場も、年始早々は高値取引と予測。年末はギリギリまで切落し需要で引き合いは強く、後半はロインにシフト。カタロースは年内で引き合い止まり、年末ラストは若干荷余りの情報あり。

年始は切落し需要の再開でスソもの需要が復活。年末年始の屠場休暇が長く、年始も1週目に連休あり年始早々の玉が不足状態。1月は販売状況に関係なく前半は枝高値を予測。

**経産牛** 枝相場は高値安定状況で推移し相場は上げ基調。販売状況はパーツについて上位部位ロイン系は相変わらず不足。赤身系は若干余裕あるが荷余りはしていない状況。バラの販売がやや苦戦しておりオーダーが減少傾向。輸入ものに押されている。挽き材は、季節柄引き合い弱鈍い状況。産地側も在庫的には重くないため、無理して販売せず蓄えている可能性あり。価格相場の情報も少なく、販売はかなり停滞気味か。

年始からの問い合わせは徐々に増えてきているが、年度末も控えており大口販売は慎重な状況。

# 左先生の畜産学研究NEWS

平成29年末に閣議決定された今年度予算案は97兆円を超え、その60%は税収で34%が新規国債発行、基礎的財政収支は10兆円の赤字です。社会保障費と防衛費増で財政健全化の道のりは遠い道です。政府の来年度予算案で農林水産関連は2兆3千億円(前年比-0.02%)、飼料米生産への交付金3,300億円、畜産・酪農の経営安定対策に1,800億円などです。[e-びーふNEWS 北の牧場から]も今年で4年になり49号です。1,2-300字程度で独断と偏見での学会・研究会情報を解説しています。こういうのを載せると言う声もありません(応えられるかどうかは別ですが)違った観点からの投稿を歓迎します。e-びーふNews49号の学術情報は日畜会報(和文)の前年11月分からです。

### 1. 日畜会報88:4, 425-430 (2017.11) 鹿児島県産黒毛和種における損傷発生状況に関する調査研究(小山秀美他、鹿大院農)

黒毛和種牛の外観審査で白斑、舌・乳頭・被毛の異常程度により損傷として不登記を免れた県内の子牛登記データから損傷出現動向を検討しました。損傷発生率は被毛の異常0.29%、白斑・舌の3.68%で、白斑は近交度との相関が高いと思われ、遺伝的要因の関与は不明のままです。

### 2. 日畜会報88:4, 439-444(2017.11) 黒毛和種繁殖牛の分娩直後の血漿免疫グロブリン濃度の変動要因と分娩後の血漿中免疫グロブリン濃度に及ぼす乾燥ニンジン給与の影響(石田真穂他、京大院・農)

分娩直後に血漿IgG1濃度が低い黒毛和種繁殖雌牛にβカロテンを多く含んだ規格外ニンジンの乾燥品を300g/日で分娩予定3週間前から分娩後60日まで乾草とグラスサイレージと共に給与すると分娩直後の血漿IgG1濃度が改善し、IgA濃度の増加も期待されました。

### 3. 日畜会報88:4,455-462(2017.11) 黒毛和種子牛の発育、血液性状および行動に及ぼす哺乳期間の影響(東山由美他、東北農研)

グラスサイレージ主体飼養の黒毛和種子牛を3および7.5ヶ月間哺乳し、母

子同居哺乳で子牛の血漿βHBA濃度と伏臥時間などを検討しました。両子牛の飼料摂取量に有意差はなく、日増体量は7.5ヶ月離乳牛が1.1kg、3ヶ月離乳牛0.7kgでした。血漿βHBA濃度や伏臥時間はストレスレベルの高・低を反映していました。

### 4. 日畜会報88:4, 455-462(2017.11) 筋肉内脂肪含量が塩漬後の牛肉のNaCl含量およびメトミオグロビン割合に及ぼす影響(細川遙果他、岩大院農)

発酵TMRに混合する穀実の影響を検討しました。圧片トウモロコシと圧片発色剤無添加の牛肉生ハム製造に及ぼす筋肉内脂肪含量の影響を検討しました。供試黒毛和種と日本短角種去勢牛の半腱様筋の脂肪含量は各々約10-25%及び約5%でNaClの浸透性やメトミオグロビン形成動向からみて、牛肉生ハム製造には筋肉内脂肪含量が少ない方が適していると思われました。

### 5. 日畜会報88:4,473-477(2017.11) 塩漬におけるNaClの量が日本短角種牛肉の理化学特性に及ぼす影響(谷本智里他、岩大院農)

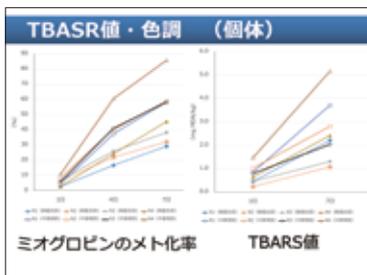
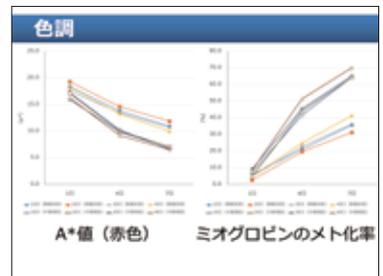
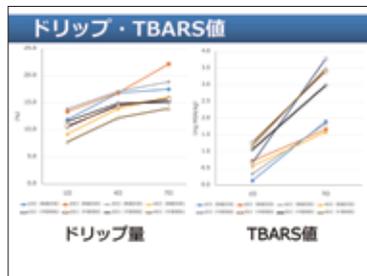
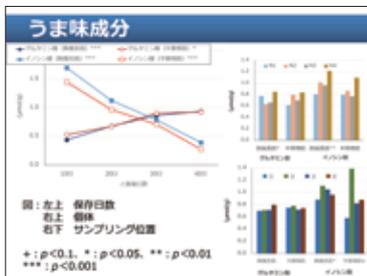
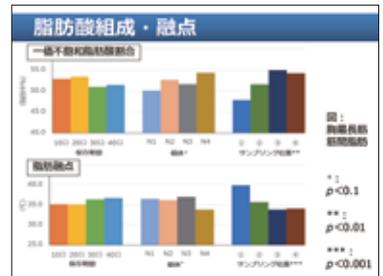
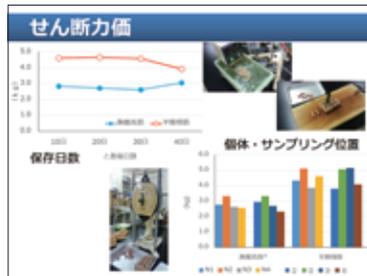
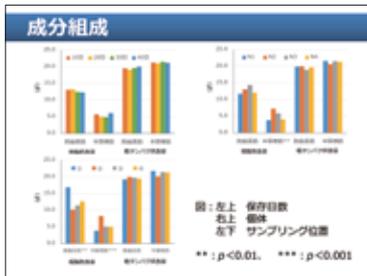
肉生ハムは非加熱食肉製品で発色剤無添加の塩漬に用いるNaCl 2,4,6gを筋肉内脂肪8.7%の日本短角牛の大腿二頭筋100gで検討しました。NaCl濃度が低いと付着性などの理化学特性やメトミオグロビン割合も低く、NaCl濃度が高いとドリップロスが大きく、塩分量と共に塩漬に組み合わせるKCl量の検討が必要のようです。

### 6. 日畜会報88:4,491-495(2017.11) 黒毛和種サイコロ脂面積における遺伝的改良の可能性の検討(迫田康平他、帯畜大)

牛枝肉第6.7切開面の筋間脂肪の一つであるサイコロ脂面積を小さくする遺伝的改良の可能性を十勝家畜市場の黒毛和種牛のデータ約8,000で検討しました。サイコロ脂面積の遺伝率は去勢牛0.43、雌牛0.51と中程度で遺伝的改良が可能と思われ、サイコロ脂面積とあらさ指数との遺伝相関からみて、粗い脂肪交雑粒子の減少も期待できます。

# 道総研 畜産試験場NEWS

## 道産牛肉のおいしさ 全6回シリーズ⑥ 道総研 畜産試験場 肉牛グループ 大井 幹記



まとめ

- 保存期間中にサンプルから漏出するドリップは、胸長筋では保存期間の影響は見られず、半腱様筋では保存期間の延長により増加する傾向にあった。
- 成分組成および加熱損失、肉色、食感(肉の硬さ)の指標であるせん断力値など、多くの分析項目で保存期間の延長による影響は見られなかった。
- 遊離アミノ酸含量は保存期間の延長により有意に増加する一方、核酸関連物質であるイノシン酸含量は保存期間の延長により有意に低下した。